



### ロータリー100周年

1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生して以来、ロータリーは今年で100周年を迎えます。

当初は弁護士ポール・ハリスが友人3人と語り始めて始まりました。今や国境を越えて、ロータリーの輪は広がっていますが、初期の頃は、将来の見通しはほとんど立っていませんでした。4人のうち誰1人として、100年後に31,000ものクラブが会合を開き、そして定期的に会合が開かれることになるとは、予想していなかったことでしょう。

ロータリークラブがこれまでの歴史の中で取り組んだものの中で特筆すべきは、ポリオ撲滅の運動です。かつて全世界の約500万人の子供たちを苦しめたポリオという病も、今ではほぼ撲滅したといっても過言ではありません。私たちは、世界の子供たちや今後生まれてくるすべての子供たちへの贈り物として、ポリオのない世界を実現するという大きな成功を祝うことになります。

また、世界166カ国で120万人の会員が奉仕するという1世紀にわたる成長と拡大を祝い、そして、私たちが奉仕へと駆り立てて献身しようとする意気込みを、ロータリアンの心温まる親睦を祝うのです。

100年は重要な磁石であり、そこに到達した団体はほとんどありません。このことは、ロータリーが正しい行いをしていること、ロータリー奉仕に対する需要がいまだ大きいことを示しています。私たちの成功には、数多くの「秘密」があります。それは週例会に由来する親睦と共通の大義、それに世界中に向けて扉と心を開く国際性であり、私たちの誰もが、自分ひとりで行うよりはるかに大久の事柄を達成させてくれる構造です。しかしながら、最大の強みは、ロータリアンが新しい挑戦事項に取り組むにあたって抱き、最後に問題が解決されるまで持続する熱意なのです。私たちは、ポリオ撲滅において、また、私たちが奉仕する各地域社会において、他の何千もの方法でそれを実践しています。

20世紀を通して他のこれほど多くの人々の心と魂を掴むことになった奉仕の運動ですが、初期の創立者たちのように、ロータリアンは、自分たちの行動がどれほど建設的な影響を与えるのか、常にわきまえているわけではありません。しかし、100年にわたる奉仕は、私たちが世界で善行をなす計り知れない可能性を明確に示してきました。

今日、国際ロータリーは、世界で最も影響力と行動力を有する非政府団体の1つとして、奉仕の第2世紀に入る用意が整っています。ポリオ・プラス・プログラム、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター、国際人道的活動、そして世界中で数え切れないほどの卓越したクラブと地区のプロジェクトなど、より平和な世界を達成するためのロータリーの貢献は可能性に満ちています。また、新しい挑戦事項に取り組み、それらが達成されるまでやりぬく心構えをして、奉仕の第2世紀に入っていくことでしょう。

私たち葛生ロータリークラブでも、職業で、地域社会で、そして私たちの世界で、新たに奉仕に献身し、ロータリー100周年を祝っていきます。

グレン・エステス会長は、「このシカゴ大会は、ロータリーにとっては100年目の通過点かもしれませんが、皆様にとっては、生涯で唯一度の祝い事です。これを見逃す訳には参りません。」と語っています。

ロータリー100周年期の1年は、私たち、ロータリアンにとって一生忘れ得ぬ年度になることでしょう。



葛生ロータリーのみど  
【発行】  
葛生ロータリークラブ  
雑誌・広報委員会  
委員長：永井成雄  
副委員長：寺内聖  
嶋田政  
委員：相子光太郎

〒327-0501  
佐野市葛生東1-12-11  
鼎足利銀行葛生支店内  
電話&FAX85-4451



# 葛生ロータリーのみど

## ROTARY CLUB NEWS

KUZUU

第2号 発行日2005年6月30日



### ご挨拶

葛生ロータリークラブ2004～2005年度  
会長 関口 泰一郎

今年2月28日をもって1市2町が合併して新佐野市になり長い間親しまれてきた葛生の町名が無くなることは一抹の寂しさもありましたが、3ヶ月を過ぎてきますと、すっかり佐野市の住民になってきたのではないのでしょうか。佐野市には4つのロータリークラブがあります。ロータリーとは集会所を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたそうです。

1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生し、そのときは4名の会員でした。現在は世界166カ国、32,176クラブ、1,214,127名の会員になり、奉仕と親睦の理想を掲げ、活動をしています。今年で100年を迎えることが出来ました。「ロータリーって一体なんですか?」と質問を受けることがございます。世界中で一番古い奉仕団体であるということです。ロータリーの綱領、そして4つのテストに照らして、地域社会に奉仕していくのがロータリークラブです。

葛生ロータリークラブも44年の歴史を重ね来年は45周年の節目を迎えます。これも一重に地域の皆様のご理解とご協力があるからこそと思います。心より感謝申し上げます。葛生ロータリークラブは、19の委員会と46名の会員で構成され単年度で組織運営をしています。今回2回目の会報を出すことが出来ました。これからも長く続けていきたいと思っております。

地域の皆様とこれからもスキンシップを大事にし、お互い力をあわせ活動していきますので、ご協力をお願い申し上げます。

### ロータリーとは

#### ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の影で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどこのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語りあって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは志を同じくするクラブが、次々各地に生まれ、国境を越えて、今では世界166カ国(2004年12月現在)の地域に広がり、クラブ数32,176、会員総数1,214,127人(2004年12月31日RI公式発表)に達しています。そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。



#### 目次

- P1 -----
- ご挨拶
- 葛生ロータリークラブ会長  
関口 泰一郎
- ロータリークラブとは  
----- P2 ~3 -----
- 活動報告  
----- P4 -----
- ロータリークラブ100周年

#### 葛生ロータリークラブ 会員名簿 (ABC順)

相子光太郎	奥山 誠司
馬場 俊一	千原 誠司
千葉 幸雄	斎藤 武
江田 聡平	酒庭 和一
福島 秀治	嶋田 政
広瀬 常夫	島野 公良
広野 裕幸	関口 文雄
飯田 力	関口 泰一郎
市毛 芳克	蘇原 広光
石川 清	須藤 功一
岩崎 昇一郎	高実子 正
影澤 龍平	田沢 秀文
川田 直治	谷 和文
川田 忠司	寺内 聖
小林 祥郎	坪内 馨
駒形 忠晴	八下 田幸三
茂呂 博	八下 田典雄
永井 成雄	横塚 信也
長島 徹	吉澤 浅一
中田 秀昭	吉澤 兵左
中田 英昭	吉澤 慎太郎
新田 実	吉澤 俊夫
野部 栄一	立川 裕康
奥澤 松利	(名誉会員)

#### THE FOUR WAY TEST 四つのテスト

- Of the things We think, say or do  
言行はこれに照らしてから
- I. Is it the TRUTH?  
真実かどうか
- II. Is it FAIR to all concerned?  
みんなに公平か
- III. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?  
好意と友情を深めるか
- IV. Will it be BENEFICIAL to all concerned?  
みんなのためになるかどうか